

令和四年度 ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業
 ～これまでと これから繋ぐ十七字～
 「絆部門」 県北域内優秀作品集

県入賞作品（最優秀）

つくりたい きれいなちまき 母さんと
 川俣小学校 三年 河野 真季
 子に伝え 三角ちまき 祖母の技
 母 河野 真美

県二次審査通過作品

お葬式 大人の涙 ほほ伝う
 森合小学校 四年 佐藤 亨祐
 お見送り 子らの笑顔に 囲まれて
 母 佐藤 静恵
 線香の 香りでじいちゃん 思い出す
 蓮葉小学校 六年 丹治 愛莉
 伝統や 文化学へる 四世代
 母 丹治 智枝
 そのおなか ちゃんとやってる？ タイエット
 堰本小学校 五年 谷口 友香
 十才の だれより厳しい トレーナー
 父 谷口 孝之
 星光る 父のノックを 受ける晩
 杉田小学校 四年 安田 怜生
 明日の試合 お前がスターで 光る番
 父 安田 達人
 ひびかせろ！ 十三人の 豊年太鼓
 淡川小学校 五年 大橋 夏歩
 伝統を 継ぐ音色 響き伝わる
 母 大橋 千恵子
 待ってたよ お帰りのさいにお父さん
 小浜小学校 四年 遠藤 晴太
 早いねと 盆棚見つめ また一年
 母 遠藤 里恵

県北域内奨励作品

逃げないで 僕が美味しく 食べるから
 富田幼稚園 年中 菅野 泰世
 小さな手 中々つかめぬ 魚とり
 父 菅野 竜太
 朝起きて 朝顔に水 日課です
 大山幼稚園 年中 安齋 希優
 朝シャワー キラキラ光り 笑顔咲く
 母 安齋 裕美
 ぷにぷにと ママのこのうで スクイーズ
 福島第一小学校 二年 穴戸 結衣菜
 小さな手 温もり忘れぬ いつまでも
 母 穴戸 純子
 きれいだな 満月輝く 夏の夜空
 福島第一小学校 四年 国分 大士
 平和する 夏の夜に見る 月あかり
 母 国分 栄美
 病気かな 元気になあれ お母さん
 森合小学校 四年 大橋 空翔
 ありがとう 愛情たっぷり カップ麺
 母 大橋 由香里
 のどかわき 畑のトマト まるかじり
 渡利小学校 六年 岡崎 瑠誠
 草むしり 孫の笑顔が 栄養剤
 祖母 佐久間 真由美
 じいちゃんが 作った野菜は おいしいな
 渡利小学校 六年 齋藤 光希
 ピーマンも 祖父のおかげで 好きになる
 母 齋藤 安希子
 温暖化 ほくのやる気も 溶けてゆけ
 渡利小学校 六年 半澤 拓実
 ゲームなら なぜ途切れない 集中力
 母 半澤 万里子
 かなちよろも かえるもいたよ くさむしり
 南向台小学校 一年 保坂 柊
 草むしり 蜻蛉飛びの 気をとられ
 父 保坂 慧
 ママまって！なんかつがうよ その書きじゅん
 南向台小学校 二年 渡部 陽斗
 教わって なんかつがうよ 子の成長
 母 渡部 紗緒里
 夏の空 次こそ取るぞ 白い飛球
 南向台小学校 三年 菅野 明輝人
 白球に 行方尋ねて 飛遊星
 父 菅野 浩平
 コロナさん じいじとばあばに 会わせてよ
 杉妻小学校 二年 小野寺 悠
 感染症 心の距離は 離さずに
 母 小野寺 志穂子

あつくても ばあばはいつも やさしいな
 杉妻小学校 五年 斎藤 直哉
 ご飯済み またご飯だよ 本気だす
 祖母 斎藤 節子
 青い空 雲一つ無い きれいだな
 蓮葉小学校 六年 若生 蘭
 暑い夏 娘残して 仕事なり
 母 若生 美香子
 てをつなぎ みあげるそらは 「じいちゃんまあく
 蓮葉東小学校 一年 深見 悠篤
 目をあわせ 笑顔の先に 朝顔
 父 深見 伸一
 トントントン マイ包丁で お手伝い
 清水小学校 四年 佐藤 生実
 祖父と孫 味も背中も そっくりに
 母 佐藤 愛
 夏休み 家族時間で 会話ふえ
 清水小学校 四年 菊池 舞羽
 何気ない 会話で笑顔も 二倍増し
 父 菊池 寛
 列車だよ 黄色と白の 夏の味
 清水小学校 六年 佐藤 結人
 2つの背 ならんで食べる とうもろこし
 母 佐藤 ゆみ
 サカサカと 向かってくる亀 愛おしい
 北沢又小学校 五年 諸井 園子
 亀はかわいい 世話する娘は もっとかわいい
 母 諸井 陽子
 今日もまた いいにおいの 音がする
 北沢又小学校 六年 高階 晏吾
 いつまでも 覚えていてね その笑顔
 母 高階 利恵子
 じいちゃんを 連れて行きたい 甲子園
 岡山小学校 六年 水口 壘
 球児観て 孫といっしょに 熱い夏
 祖父 水口 章
 朝おきて ほくのしごとだ こみすてに
 鎌田小学校 四年 永井 環
 子のせなか ひと夏こえて たくましく
 母 永井 悦子
 ふろあらい 母をえがおに できたかな
 鎌田小学校 四年 村松 晴
 ありがとう ふろもこころも あらわれる
 母 村松 由紀
 おばあちゃん また会う日まで 元気でね
 鎌田小学校 五年 寒河江 倅心
 転ばぬよう 声かける姿 誇らしい
 母 寒河江 恵里子
 じいちゃんが つくったものは おいしいね
 月輪小学校 一年 北村 晴
 我が桃を 皮ごと頬ばる 孫愛し
 祖父 清野 政孝
 バasket シュートをきめた うれしいな
 瀬上小学校 四年 齋藤 葵翔
 マスクして 声はだせぬが 涙でる
 母 齋藤 みゆき
 なつやすみ ひらがなぜんぶ おぼえたよ
 余目小学校 一年 石田 輝海
 お風呂場で 一緒に寝てた 五十音
 母 石田 裕美

あついひに クジラのプール たのしいな
 余目小学校 一年 佐藤 茉旺
 汗だくで プールに空気を 入れる父
 父 佐藤 篤爵
 ちようせんた 五十メートル 自由形
 余目小学校 四年 大河内 麻鈴
 プールサイド 一緒にしてる 息継ぎを
 母 大河内 美夏
 お母さん 今日の疲れを いやしてね
 余目小学校 四年 深田 旭
 寝る前に いつもありがとう 肩たたき
 母 深田 奈々
 記録会 恥ずかしいから 来ないでね
 余目小学校 六年 秋葉 来斗
 分かったよ マスクとメガネで そとに行く
 父 秋葉 清人
 ぴざつくり やさいもたのしく たべれたよ
 吉井田小学校 一年 かのの あいり
 プラン立て 偏食克服 完遂し
 母 菅野 菜摘
 日曜日 「すみっくすごろく」家ぞくのわ
 吉井田小学校 三年 熊坂 麻友
 子と遊び 負けて気が付く 成長に
 父 熊坂 孝弘
 へらへらは ぬけてすすきり 七さいだ
 佐原小学校 一年 すずき まお
 歯ぐき見せ 笑った顔に おめでとう
 母 鈴木 真樹
 かぶとむし つかまえてほしいよ おじいちゃん
 平野小学校 一年 やまき てつぱい
 孫のため 童子にかえり 木に登る
 祖父 佐原 孝男
 もぐれたよ ままといっしょは こわくない
 平野小学校 一年 田島 絳菜
 手を繋ぎ せーので潜る 水の中
 母 田島 恵美子
 祖母のため 私は目指す 介護職
 平野小学校 五年 丸尾 魁蘭
 孫の背を 見ながらつながる 優しい手
 祖母 板持 タテコ
 がっこうは へんきょうきょうしよく たのしいよ
 湯野小学校 一年 佐藤 玲
 参観日 ママもドキドキ 一年生
 母 佐藤 紗織
 てはおひざ わたしがかわりに おすからね
 湯野小学校 一年 鈴木 玲羅
 ひまごのて やさしさつまって うれしなき
 曾祖母 稲月 カツ卫
 炎天下 桃の発送 お手伝い
 湯野小学校 五年 佐藤 有修
 子の汗を 心に刻む 夏の日や
 母 佐藤 朋子
 コロナなり かくり生活 さびしいな
 湯野小学校 六年 佐藤 紅恋花
 カメフ越し 元気な姿 安堵する
 母 佐藤 友里
 ありがとう いつもおいしい おべんとう
 下川崎小学校 一年 さいとう れおと
 大変も うれしい気持ちも 6人分
 母 齋藤 奈津子



なつのそら あさがおみずやり ほらげんき
下川崎小学校一年 たかのりく
つるのようじ くんぐんのびろ 我が息子
高野 鈴香
母

おかあさん これつたうよ おこめとき
鳥川小学校二年 斎藤 采叶
ありがとう 二人で並ぶ 台所
母 斎藤 亜莉沙

家族五人 「あはは」と笑う 夜ご飯
鳥川小学校五年 蓬田 将磨
一日の 報告しあう 晩ご飯
母 蓬田 由貴子

おかあさん ごはんおいしい ありがとう
大森小学校三年 芳賀 陽冬
ありがとう あなたの食レポ 世界一
母 芳賀 優子

がんばって 母をおうえん 乗りこえろ
大森小学校六年 鈴木 慶
がんばるよ 負けてたまるか この病
母 鈴木 涼子

いつの日も 変わらぬ母の「おかえりなさい」
大森小学校五年 佐藤 彩葉
「ただいま」に かくれた本音 聞きたいな
母 佐藤 美穂

三しまい うるさいけれど たのしいな
平田小学校一年 齋藤 理々奈
子の笑顔 みんなを癒やす 魔法です
母 齋藤 真理子

夏の間 夕日が近い かたぐるま
平田小学校三年 斎藤 いろは
肩車 足がブルブル 凹む夏
父 斎藤 啓太

お父さん 今日もうまごび はやくやろ
平田小学校四年 渡辺 陽葵
遊ぼうと 誘われるのは いつまでか
父 渡辺 和幸

いつてきます！ ママの弁当 楽しみだ！
平田小学校五年 長尾 心々菜
がんばって！ 今日もう元気に 無事故でね！
母 長尾 若菜

みていてね ちゃんとひとりで できるもん
庭坂小学校二年 高橋 琴音
ほんとかな 手出し口出し がまんとき
母 高橋 悦子

夏休み ママは仕事で さみしいな
庭坂小学校三年 二階堂 愛紗
子を残し 仕事に向かう 重い足
母 二階堂 恵

パパのギャグ ちよつといらつと 塩対応
庭坂小学校四年 後藤 ゆめの
甘くない 態度も寝顔は 赤ちゃん
父 後藤 喜樹

じいちゃん あせだくもほり たのしいな
庭坂小学校四年 押見 佳歩
娘の手 祖父と畑で 土まみれ
父 押見 新一

お父さん さみしい時は 声かけて
庭坂小学校四年 阿部 新
いつまでも 一緒に遊ぶ 友でいて
父 阿部 大樹

「はよ歩け！」ダイエツトに ならないぞ
庭坂小学校五年 吉田 諒汰
「それでもいい」 会話楽しい 夏の夜
母 吉田 宏美

いつまでも 笑顔でいてね おはあちゃん
庭坂小学校五年 高橋 蓮
まかしとけ さいこの日まで にっこりに
母 松浦 富子

次からは ひとりでかみの毛 かわかすよ
庭坂小学校五年 兒玉 もも
さみしさと 大人になつてく 楽しみと
父 兒玉 貴彦

コロナ禍で 祖父母の交流 オンライン
庭坂小学校六年 富樫 優花
元気なら また会えるから 今我慢
母 富樫 路子

あいさつで 人の心は とけていく
庭坂小学校六年 熊谷 里風
あいさつで 見えない笑顔 見えてくる
母 熊谷 絵美子

おはあちゃん やさしい笑顔 ありがとう
庭坂小学校四年 阿部 愛心
よく歩き 塩分控えて よく笑う
母 小野 英子

ひいばあちゃん また来るねと 窓越しに
川俣小学校二年 齋藤 紅音
マスクでも 笑顔が見える ひ孫かな
曾祖母 齋藤 キヨ

妹と 草の息と かくれんぼ
川俣小学校六年 高橋 結友
草むらに かくれ姉まつ かわいっこ
母 高橋 礼子

ねえあのね ちゃんときいてる ほくのかえ
伊達小学校二年 さとうあおし
大丈夫 わたしの耳は 聖徳太子
母 佐藤 知佳

うれしいな 初めて「にい」とよばれたよ
伊達小学校四年 小野 佑真
教えてた 毎日何度も 「ほく、にい」に
母 小野 睦子

背比べ 俺は成長 父老花
伊達小学校六年 佐々木 幹央
父と子が 二人並んで 背比べ
父 佐々木 教雄

いえのなか ままをとりあう さんしまい
伊達東小学校四年 清野 菜叶
三人の 成長感じる かけあして
母 清野 友美

妹に やりかえては 倍がえし
梁川小学校四年 石井 大智
さわぎ声 元気なするし ほっとする
母 石井 侑子

ははが言う あれそれこれが ほくわかる
梁川小学校六年 佐藤 莉央
いそいでる もののなまえが ててこない
母 佐藤 友里恵

本当は やさしい言葉 てれくさい
梁川小学校六年 鈴木 里依咲
置き手紙 しつかり受けとる 子の心
母 鈴木 容子

かたづけて キレイにしてよ パパに言う
堰本小学校四年 大橋 心陽
言う言葉 ママにそっくり 我が娘
父 大橋 雄一郎

のりたいな ばあちゃんのもの しにあかあ
栗野小学校一年 中山 照三
長生きして 曾孫乗る車で ドライブだ
曾祖母 中山 クラ子

目を閉じて ひとくちパクリ あ、おいしい！
栗野小学校四年 須田 凌成
夏カレー 刻んだ野菜 こっそりと
母 須田 めぐみ

ひいばあちゃん つえと名前を 忘れてる
大田小学校三年 安藤 虎汰朗
「また来たよ。」毎日ひまこの 顔見たい
母 安藤 由梨

ねる前に ママと話すの 1日分
保原小学校四年 齋藤 翔太
おやすみと 毎日言える ありがとう
母 齋藤 裕子

背中かく 母さんの手が 心地いい
保原小学校四年 清野 敏希
手荒れした 指が息子の 孫の手に
母 清野 悠子

さすがだね ままのバスタ ぬめっちゃうまい！
上保原小学校二年 佐藤 羽桜
気が引ける たまにはレンチン 許してね
母 佐藤 香

やつといた 洗たくたため 皿洗い
上保原小学校六年 原田 琉唯
いつのまに わが子の成長 かみしめる
母 原田 直美

弟が 泣くからわざと 見つかるよ
上保原小学校六年 齋藤 叶生
かくれんぼ 兄がいないと 泣く次男
父 齋藤 寛樹

ちこくだよ いそげいそげと あせるはは
掛田小学校二年 さかい 千夏
のんびりや 母親そっくり 祖母ほつり
母 酒井 里子

ふしぎだな 家族で同じ ねるすがた
小国小学校四年 高野 一晴
朝起きて 笑える幸せ 親子だな
母 高野 美穂

せいくらべ つまさき立ちの 母勝利
月館学園小学校四年 古川 千晴
負けられぬ 必死で背伸び わずかの差
母 古川 佳奈

弟よ いっぱい食べて 育つてね
醸芳小学校五年 佐藤 煌太
お兄ちゃん 世話する姿は もはやパパ
母 佐藤 歩

はなれても 元気と笑顔 支えたい
醸芳小学校六年 安藤 心海
寂しさを 優しく包む おき手紙
母 安藤 美和子

なまえばね おやかかららう プレゼント
伊達崎小学校四年 遠藤 笑瑠
想いをね 笑ってつなぐ 三姉妹
父 遠藤 典之

すぐは無理 最後のポストと 戦争中
国見小学校四年 高橋 陽樹
ごはんだよ ゲームをやめて 食へに来て
母 高橋 美幸

「みつけたぞー！」そつとちかづく とんぼとり
二本松南小学校一年 野地 陽太
しのび足 帽子にとまる とんぼに笑顔
母 野地 由美子

またすべに はけなくなつて 母のくつ
二本松南小学校六年 鈴木 彩夏
誕生日 娘に買った スニーカー
母 鈴木 早苗

カブトムシ はじめてふれて かたさ知る
二本松北小学校三年 大内 総一郎
兜虫 触れて輝く 親子の目
父 大内 俊大

ほくのふね しゃしんとつてよ ういたとこ
塩沢小学校二年 かとう しゅうと
ぶかぶかと うまくういたね ハイパシャリ
祖父 市川 達志

メダカのね 宝石たまご 発見だ
塩沢小学校五年 五十嵐 麻衣
並んだね 娘がオーナー 水族館
母 五十嵐 久美子

洗濯物 取りこんどいたよ お母さん
塩沢小学校六年 佐藤 渚美
ありがとう ラインでペコリ メッセージ
母 佐藤 真由美

おてつだい やさいきるのが 楽しいな
岳下小学校三年 高橋 依吹
包丁の 音で感じる 子の成長
母 高橋 智美

あたたかい やさしい気もち 大きな手
杉田小学校三年 押山 華音
いつまでも 覚えていたい 小さな手
母 押山 陽子

紙に書き 用件伝え 分かるよね
石井小学校二年 大石 美咲
言われても なせか聞こえぬ 孫の声
母 大石 幸江

暑い中 庭の草かり おつかれさん
石井小学校六年 穂積 壮琉
おい孫よ 十年先は 任せたぞ
祖父 穂積 孝一

おかあさん ころろにメール おくつたよ
大平小学校一年 いわま みさき
「あとで見て」 そつとつ子を抱きしめる
母 岩間 明日香

料理する 母のとまりが 好きな場所
大平小学校四年 佐藤 穂香
近くなる 目線に喜び 足されてく
母 佐藤 菜美

カエルいや！ はやくとつてよ ママ早く
大平小学校五年 木村 愛音
ママもイヤ けつきよくくるの 私かよ
母 木村 直子

夜ご飯 なんでもいいよ こまり顔
大平小学校五年 小林 礼依
「ナン」でもいい？ それなら今夜は カレーだよ
母 小林 亜紀子

夏休み たくさんするよ お手伝い
大平小学校 五年 武藤 湊
本当は こつかいかせぎ さくせんだ
母 武藤 歩

コロナ禍で 会えないけれど 元気だよ
大平小学校 五年 市川 煌
声聞いて 孫が元気で 一安心
祖母 大竹 幸枝

姉たちと 秒で終了 桃バトル
大平小学校 六年 安齋 紗
桃バトル 切っても切っても 追いつかず
母 安齋 真弓

うざいなと 耳をふさいで きよりをとる
大平小学校 六年 遠藤 雄大
知ってるよ 反抗期だけど 優しい子
母 遠藤 喜美子

うるさいな!! あれやれこれやれ お母さん!!
油井小学校 一年 遠藤 柊芽
うるさいな 結局最後は お母さん!!
母 遠藤 智子

さかあがり せいこうしたい でもできず
油井小学校 二年 安齋 菜々里
さかあがり 子に教えたい できぬ母
母 安齋 夏紀

お父さん お酒のみすぎ 注意だよ
油井小学校 三年 佐とう 志菜
許してよ 仕事終わりの まず一杯
父 佐藤 慎悟

ユニホーム スライディング ころだらけ
油井小学校 三年 熊谷 丈太郎
追っかけて 応援焼酎で まっ黒だ
母 熊谷 さち子

しゅくだいが おわらず父ちゃん たすけてよ
油井小学校 三年 齋藤 希桜
まだですか 去年も同じ セリつだよ
父 齋藤 弘明

おにぎりは ツナマヨ入れて お母さん
油井小学校 四年 久保田 成美
おにぎりに 夏バテ対策 梅干しイン
母 久保田 智加子

いととんぼ おかえりなさい おじいちゃん
油井小学校 六年 鹿又 愛加
亡夫かな とんぼになって 会いにきた
祖母 鹿又 房子

お母さん そろそろ体重 おとしてね
油井小学校 六年 佐藤 菜々花
子に言われ 現実見るも あきらめる
母 佐藤 恵美

おそくまで 働くパパと 朝笑う
小浜小学校 五年 大内 葵
パパおはよう 子供のあいさつ 元気でる
父 大内 和晃

めずらしく ゲームをやめて お手伝い
新殿小学校 四年 菅野 由人
お手伝い してくれるのは 今だけか
母 菅野 富由美

うれしいな たこやき花火 家まつり
東和小学校 二年 和田 そらの
家まつり 笑い楽しむ 子無料
母 和田 茜

ママの声 ポリウムアップで なくわたし
東和小学校 三年 菅野 蘭
寝顔見て 怒りすぎだと 頭なで
母 菅野 静恵

スイカかな 黄色いはずが 白い花
東和小学校 五年 登 愛華
検索し かんぴょうだと 夢やぶれ
母 登 早苗

夏休み 姉と二人で オムライス
東和小学校 五年 菅野 怜羅
いつもより 笑顔二倍の オムライス
二本松工業高校 一年 姉 菅野 摩耶

さみしい日 会えない祖母と 電話する
東和小学校 六年 関 美菜
楽しみは ラインテンワの 孫の顔
祖母 関 佳代子

提灯に また来年ね これは誰
東和小学校 六年 高槻 悠華
合掌 安らぎの家 建てた祖父
父 高槻 盛栄

手をつなごう ぼくが弟 まもるから
大山小学校 二年 菊地 ひびと
ちいさな手 いつのまにか お兄さん
母 菊地 よしえ

お母さん コロナかかるな やっつけろ
大山小学校 五年 野内 陸久
子の想い 胸に抱いて いざ看護
母 野内 春美

見上げてた 母の目線が 今同じ
大山小学校 五年 渡邊 颯
気付いたら 母の背越し たくましさ
母 渡邊 里美

知ったこと 聞いてほしくて 祖母さがす
玉井小学校 二年 今井 奏太
必死さに 笑うのこらえ 話聞か
祖母 今井 コキ子

おいしいの スパイスクれたよ お父さん
玉井小学校 四年 今井 遥奈
おかえりと 笑顔と愛情 娘メシ
父 今井 洋朗

父仕事 いつもがんばる せなかみる
玉井小学校 四年 園分 夏楓
知らぬ間に 課題終えてる 見せぬ表情
父 園分 隆史

10日間 ママとねれない かなしいよ
玉井小学校 四年 安藤 美瑠
近づけぬ 戸の向こうで 大丈夫?
母 安藤 美奈子

デートの日 二十年前の 母の服
玉井小学校 五年 渡辺 紗季
やせたらね 着るはずなのに 娘着る
母 渡辺 和佳子

うれしいな 母のゆかた着 花火見る
玉井小学校 五年 野内 星花
子に着付け 懐かしき祖母 思い出す
母 野内 智子

ばばにまま おとつとぼくの たからもの
本宮小学校 一年 伊藤 太一
うりふたつの 手を重ねて 握り合う
母 伊藤 由佳子

じいちゃんの だいすきなもの あつめたよ
本宮小学校 一年 菊地 乃彩
新盆で 祖父の帰りを 孫と待つ
母 菊地 舞

ねつがでて ママにうつすか しんばいよ
本宮小学校 一年 吉田 千愛
「ねつはない?」 我が家の小さな 看護師さん
母 吉田 千春

きんぎょたち ぼくのこはん まってるよ
本宮まゆみ小学校 一年 佐藤 照透
育ててね 責任持って 餌やって
母 佐藤 奈美子

家事をして 疲れた母に かき氷
本宮まゆみ小学校 六年 永崎 みなみ
家事つかれ 娘のやさしさ 身にしみる
母 永崎 沙織

つかれたよ やりたくないよ もういやだ
岩根小学校 一年 山さき とい
わかったよ やる気0の返事 どうしよう
母 山崎 ゆみ

1、2、3 ばばのまねをして きんとれた
岩根小学校 一年 石井 楓乃
気付いたら 背後で3人 マネしてる
父 石井 義史

ことしこそ 大きいプール ゆかタツチ
岩根小学校 二年 佐藤 唯織
水の中 ぐんと成長 ハイタッチ
母 佐藤 祐美

かあさんの えがお見たくて お手つだい
岩根小学校 二年 山崎 翔温
ありがとう あとからそっと やり直す
母 山崎 ゆみ

かたたたき ははのつかれば ぼくがとる
岩根小学校 二年 大橋 奏太
魔法の手 機械に勝る 子の思い
母 大橋 宏美

おむかえは ほとんどママで たまにパパ
岩根小学校 二年 渡邊 麗
たまにある 娘の迎え 胸おとる
父 渡邊 満

けんかしても 虫たちはすく なかなおり
岩根小学校 二年 松本 慧大
虫が子に 教える平和の 大切さ
母 松本 美保

お父さんの えがお見たくて 草むしり
岩根小学校 二年 いとつ ひな
父涙 子の成長と やさしさに
父 伊藤 悟

毎日の おいしいごはん ありがとう
岩根小学校 三年 さいとう 圭史
空っぽの 一升釜に 苦笑い
母 齋藤 和恵

めしあがれ わたしが作った カレーだよ
岩根小学校 三年 荒川 珠璃
おいしいな 娘のカレー 日本一
父 荒川 史章

はじめまして 私があなたの お姉ちゃん
岩根小学校 五年 門脇 結衣
うれしいな 子どもの笑顔に ありがとう
母 門脇 美穂

おとうさん 帰ってくるよ うれしいな
岩根小学校 六年 我妻 心陽
久しぶり 疲れふき飛ぶ 子の笑顔
父 我妻 雄介

まみてた? きょうはできたよ さかあがり
糠沢小学校 一年 ふじた さな
いつのひも ままがみると できないね
母 藤田 沙織

山のぼり おかあさんの にもつもつ
糠沢小学校 二年 さとう あさひ
夏山で 感じる息子の 頼もしさ
母 佐藤 恵

たまご焼き 母さんの味 まねてみる
糠沢小学校 四年 佐藤 陽杜
子の作る たまご焼きに 涙出る
母 佐藤 恵

ホットケーキ わたしがやくよ お手つだい
白岩小学校 三年 五十嵐 結
見守る目 内心ヒヤヒヤ 母心
母 五十嵐 真美子

いもうとと じゃんけんしたよ ぼくまけた
福島大学附属小学校 一年 齋藤 瑞樹
妹の 初手はチヨキだと 兄は知る
母 齋藤 あずさ

初試合 竹刀をにぎる ふるえる手
福島大学附属小学校 四年 安部 成将
頼もしく 一人戦う 子の姿
母 安部 美智子

ふた開けて いつもの味を 確かめる
福島大学附属小学校 六年 長谷川 慶佑
食べたかな あなたの好きな 卵焼き
母 長谷川 美香

夏休み 塾と課題で 休みなし
福島第二中学校 二年 大崎 翔
頑張れと おにぎり握り そっと置く
母 大崎 恵

図書館で よく先生と 会いますね
蓬萊中学校 二年 篠木 志真
これからも 大好きな本 見つけてね
母 渡邊 有紀子

P・Kで 決めた一点 次つなぐ
蓬萊中学校 三年 菅野 陽向
手をにぎり 子より緊張 入ってと
母 菅野 美智子

料理する 僕みてニコリ うちの母
北信中学校 三年 八巻 莉斗
少しずつ レパートリーが 増えてゆく
母 八巻 祐子

夏休み ラケット持って ペン持たす
松陵中学校 二年 楠田 友亜菜
母おもう 娘の宿題 おわるかな
母 楠田 まゆみ

中体連 目標届かず 悔し泣き
吾妻中学校 三年 齋藤 彩愛
みんなとの 流した汗は 宝物
母 井澤 結芽花

ぼく持つよ 重い荷物は まかせてよ
川俣中学校 一年 八塚 凛人
ありがとう 子の成長に 感謝する
母 八塚 貴子

柱キズ 母の背丈 追いついた 川俣中学校一年 蓮沼 絢乃 まだだよと 厚底履いて 笑う母 母 蓮沼 郁子	仲間との 絆うまれた コンクール 川俣中学校一年 松崎 美希 コンクール 感動してた 父と母 父 松崎 浩一郎	声にせず 表現だけで 分かる母 川俣中学校三年 渡邊 蓮華 口開き 「先越された」と 笑う娘 母 渡邊 知恵	流した汗 奏でた青春 十二分 川俣中学校三年 高橋 拓海 コンクール 酔いは覚めても 悔い残る 川俣中学校二年 岩津 颯真	野菜多い 文句言いながら 食べる私 川俣中学校三年 藤原 楓 祖父作る 野菜使って 父料理 父 藤原 速陽	小さな手 守ってあげたい 愛しさを知る 桃陵中学校二年 菅野 洵牙 家族増え 見つめる眼差し 溢れる笑顔 母 菅野 美佳子	メモを取り 思い出つなぐ 祖母の味 霊山中学校一年 安藤 黎 この味を 母の傍で 覚えた日 母 安藤 律子	父の背を 見ながら抱く 憧れを 霊山中学校三年 菅野 忠遠 太鼓の音 心で感じる 父の音 父 菅野 忠幸	「一匹待つ 犬に会いたい ペダルこぐ」 釧路中学校二年 矢邊 拓来人 朝早く 散歩待つ犬 愛しい 母 矢邊 久美子	波打ち際 スマホ片手に 戸惑う祖母 釧路中学校三年 山木 優奈 砂浜で スマホ片手に みとれる 祖母 山木 テル子	月明り 心安らぐ 一人風呂 県北中学校一年 佐藤 誓星 風呂でさぐ 子の声も今は 雨の音 父 佐藤 武志	「父は嫌」 なぜか来たる 思春期だ 県北中学校三年 高橋 理央 娘から 父へのクレーム 母困る 母 高橋 朋美	パパ待って ふろは私が 最初です 大玉中学校一年 永田 まゆ その枕 あなたのじゃなく パパのだよ 母 永田 さとみ	口ぐせは もう忘れたと ご飯なに？ 大玉中学校二年 後藤 大和 つこう良く 物を忘れる 天才か？ 母 後藤 ゆきえ	宿題は やる気出ないから 明日から 大玉中学校二年 遠藤 結衣 日付みて 明日は今日だよ がんばって 母 遠藤 布美子
--	--	---	--	--	--	--	---	--	--	---	--	---	--	--

各賞を受賞された皆様 おめでとうございます❀

お母さんの なみだを見たら つらくなる 大玉中学校二年 大内 結愛 そのなみだ 大人になったら 意味わかる 母 大内 万里	花咲く日 期待ふくらむ ミニトマト 大玉中学校二年 國分 愛々 枯れぬよう こっそり水やり 父の愛 父 國分 悟	日々マスク 体の一部 はずせない 大玉中学校二年 田辺 萌笑 はずせない 目元以外は ノーマイク 母 田辺 由香理	思っても 素直に言えない ごめんねと 福島大学附属中学校一年 佐原 快翔 大丈夫？ 荷物持とうか？ 優しい手 母 佐原 知恵美	揺れる町 祖母の背中の中 あたたかさ 福島大学附属中学校二年 菊池 敬 守りたい 小さき命 いつまでも 祖母 倉島 聡子	照れ臭く スマホで伝える ありがとう 福島成蹊中学校三年 齋藤 愛実 メールでも 気持ち伝わる 反抗期 母 齋藤 久美子	「またあした」 手を振る君に のびる影 福島西高等学校三年 佐藤 朝夏 夕焼けに 負けず手を振る 「またあした」 福島西高等学校三年 松本 悠里
--	---	--	--	---	---	---

審査員の皆様より 感想を伺いました

三年ぶりの行動制限を伴わない夏休みだったので、昨年に比べると、夏休みに家族でお祭りに出かけたり、花火を見に行ったりした作品が多かったです。

コロナ禍でも久しぶりに家族で遠出することができ子ども大人も楽しめた様子が多かったです。



夏休みの課題に親子で格闘する様子や、スマホやラインでの親子のやりとりから今時のお父さん、お母さんの家での様子が伝わりほほえましく思いました。

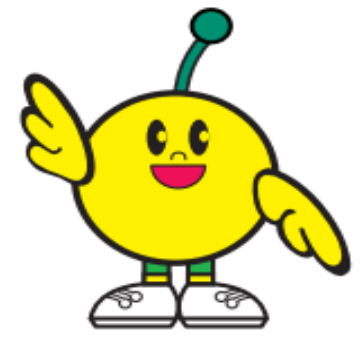


コロナ禍でなかなか会うことができないうちさん、おばあさんをおもてなしが伝わる作品も多く、家族の絆や温かな心の交流を感じることができました。

東日本大震災の年に生まれた子どもたちやまだ小さかった子どもたち、震災を経験していない子どもたちにも、震災を伝えようとする親の思いが伝わりました。

震災を経験している人たちの想いを大切に、忘れないようにしたいという子どもたちの思いから、ふるさとを大切に思う気持ちが伝わりました。

人と人の温かな心のつながりを、どの作品からも感じる事ができました。これからも、思いや感動を言葉にし、言葉のアルバムを増やしていきましょう！来年度の参加もお待ちしております！



令和4年度「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」
県北域内選考作品集は、県北教育事務所のホームページ
(<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70110a/>)